

## 1 学校教育目標

これからの未来を、生き甲斐をもって生きていくことのできる知・徳・体・情操の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざす。  
 ・進んで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・元気な子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「通いたい学校」：児童が安心・安全に過ごすことができ、「できた・分かった」を体感できる学校</li> <li>・「通わせたい学校」：開かれた学校を推進し、保護者・地域が児童の健やかなる成長を実感できる学校</li> <li>・「勤めたい学校」：教職員が協働し支え合い、児童の笑顔から活力をもらえる学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身で課題をとらえ、その解決に向かって粘り強く取り組み、解決していく児童</li> <li>・人や自然との豊かなふれあいを通して、互いに認め合い、励まし合い、尊重し合うことのできる思いやりのある心をもつ児童</li> <li>・健康な体の維持増進と心を鍛えることのできる児童</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に向上心を持ち、児童と一緒に伸びようとする教師</li> <li>・教材研究と授業改善に努め、児童に成就感と達成感を与えられる教師</li> <li>・優しさ、温かさ、厳しさをもって指導し、児童に「愛されている」と実感させられる教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

- ・児童は、明るく素直で礼儀正しい。新しい生活様式を守り、落ち着いて学校生活を送っている。学習にも前向きに取り組んでいる。
- ・主幹教諭2名、主任教諭4名を中心に全教職員が互いに学び合い、日々指導力の向上に努めている。
- ・地域、保護者は大変協力的で、「チーム双葉」が機能している。

### 【成果と課題】

#### 重点的な取組事項－1 学力向上

- ・基礎学力向上の取り組みにより、区学力調査の結果は十分である。
- ・アクションプランに示した8項目については概ね達成できた。双葉検定は低学年で課題となったため、方法を改善し言語事項の定着を図っていく。

#### 重点的な取組事項－2 体力の向上

- ・体力向上の取り組みによって、体力調査では都の平均を上回る種目が多かった。
- ・学年によって差があるので、課題となる運動については、体育の授業や休み時間の活動で補っていく。

#### 重点的な取組事項－3 豊かな心の育成

- ・学校生活の基本となることの定着は十分である。
- ・自己肯定感を高められるように、学校教育全般を通して様々な取り組みに務めていく。

#### 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	体力の向上	○	○	○	○	○
3	豊かな心の育成	○	○	○	○	○

#### 5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
「基礎学力の定着」と「思考力・判断力・表現力の向上」		国語 84% 算数 86% 次年度想定問題で両教科 75%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 改善	朝学習 算数	全学年 算数	毎週 火曜日 朝学習 年回3回 の診断	【指導者体制】全教員 【取組みのねらい・目的】 学習内容の復習・確認 【使用教材】 東京ベーシックドリル、計算 プリント	学習プリント 内容の定着度 診断シート A、B、Cの 正答率	診断シートC 全学年正答率 80%以上	自己評価の際に記入		
2 改善	朝学習 漢字	全学年 国語	毎週 金曜日 朝学習	【指導者体制】全教員 【取組みのねらい・目的】 学習内容の復習・確認 【使用教材】 漢字の学習ドリル	漢字ミニテス トの定着 年3回の定着 度確認テスト	確認テストで 目標値70点を 上回る児童 80%			
3 継続	聞き取り 書き取り チャレンジ	全学年 国語	児童朝 会時 月1回	【指導者体制】担任 【取組のねらい・目的】 聞き取る力、書く力の向上 【使用教材】 児童朝会での校長講話	指定文字数以 上、2段落で まとめて自分 の考えを書 く。	指定通り書け る児童80%以 上			

4 継続	寺子屋 「ふたば」	全学年 希望者	月に1 ～2回 水曜日 午後 1時間	【指導者体制】地域協力 者・学生ボランティア 【取組のねらい・目的】 計算・言語事項の習熟 【使用教材】 漢字ドリル、算数ドリル、プリント	実施日数	年間12回以上 実施
5 継続	家庭学習 習慣の確 立	全学年	家庭学 習	【指導者体制】担任 【取組のねらい・目的】 漢字・計算・学習日記を家 庭で取り組み、家庭学習習 慣を定着させる。 【使用教材】 漢字ドリル、算数ドリル、プリント	平日の家庭学 習10分×学年 宿題の提出・ 内容の確認	提出率90%以 上
6 改善	授業改善	全教員	授業公 開年5 回 小中連 携授業 3回	【指導者体制】全教員 【取り組みのねらい・目的】 基礎学力向上へ向けた、教師 の指導力の向上を図る。	授業に関す る、保護者・ 児童アンケー ト	保護者・児童ア ンケートで授業 に関する満足度 85%以上
7 継続	I C T教 育の推進	全教員	通常授 業	【指導者体制】全教員 【取組のねらい・目的】 児童のI C T活用能力を 向上させる。教員のI C T 活用能力を向上させ、学力 向上を図る。	教員アンケート 児童アンケート (3年生以上)	タブレットを毎日 使用した教員 が90% タブレットを上手 に使って学習 できる児童 90%
8 新規	A Iドリル	全学年	朝学習 家庭学 習	【指導者体制】全教員 【取組のねらい・目的】 基礎学力の定着。A Iドリル の各教科の問題に取り組 む。年3回強化月間を設定 する。	学習に取り組 んだ問題数	強化月間6月、 11月、2月で問 題数300問以上 の児童90%以 上

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－2		体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心身ともに健康な子どもの育成		運動が好きと答える児童 90%以上 体力調査で区平均を上回る種目 6 割以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力や運動能力の向上	運動、体力向上に関する保護者・児童アンケートで肯定的な回答 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育の授業改善（実技研修）</li> <li>・ 課題となる運動に対する指導の重点化</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
日常の遊び時間の確保	「外遊びウィーク」に参加児童 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中休み 20 分間、昼休み 15 分間の休み時間の確保</li> <li>・ 年 2 回の「外遊びウィーク」の実施</li> <li>・ アンケートの調査の実施</li> </ul>			
持久走・縄跳び週間	持久走大会・縄跳びカードで自分の目標をクリアした児童 70%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持久走大会での目標タイムを設定し、練習に取り組む。</li> <li>・ なわ跳びカードの目標級を設定し、練習に取り組む。</li> </ul>			

重点的な取組事項－3		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を大切にする態度や思いやりの心の育成</li> <li>・自己肯定感の向上・決まりを守る態度の育成</li> </ul>		「心の教育」に対する保護者アンケートで肯定的な回答 90%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感の向上	心のアンケート 2 回を比較し、2 回目で学級満足度が 2 割向上	・心のアンケート実施（6 月・11 月）	自己評価の際に記入		
いじめ等問題行動の未然防止・早期発見・迅速な対応	いじめ解決 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年 3 回以上のアンケート実施</li> <li>・年 3 回以上の聞き取り調査実施</li> </ul>			
あいさつの励行	あいさつに関する保護者・児童アンケートで肯定的な回答 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員による挨拶の手本を示す。</li> <li>・朝会で校長や当番の教員からの講話</li> <li>・計画委員会の取組「あいさつ運動」</li> </ul>			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。